



魅力ある教育のまち よっかいち

本市では、子どもたちが社会人になったとき、直面するさまざまな困難や課題を解決し、乗り越えていく力、即ち「問題解決能力」を身につけるための基礎となる知識や知恵を「学力」と位置付けています。

そして、その「学力」を向上させるとともに、豊かな人間性や健全な身体を育むことを目指して、本市ならではの魅力ある教育を展開しています。

ちゃんねる
連動



今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します

- 地デジ12ch(CTY)
- 7月11日(月)～20日(水)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

※16～20日の番組の一部は、高校野球中継により休止となる場合があります

大綱

ビジョン

アクションプラン

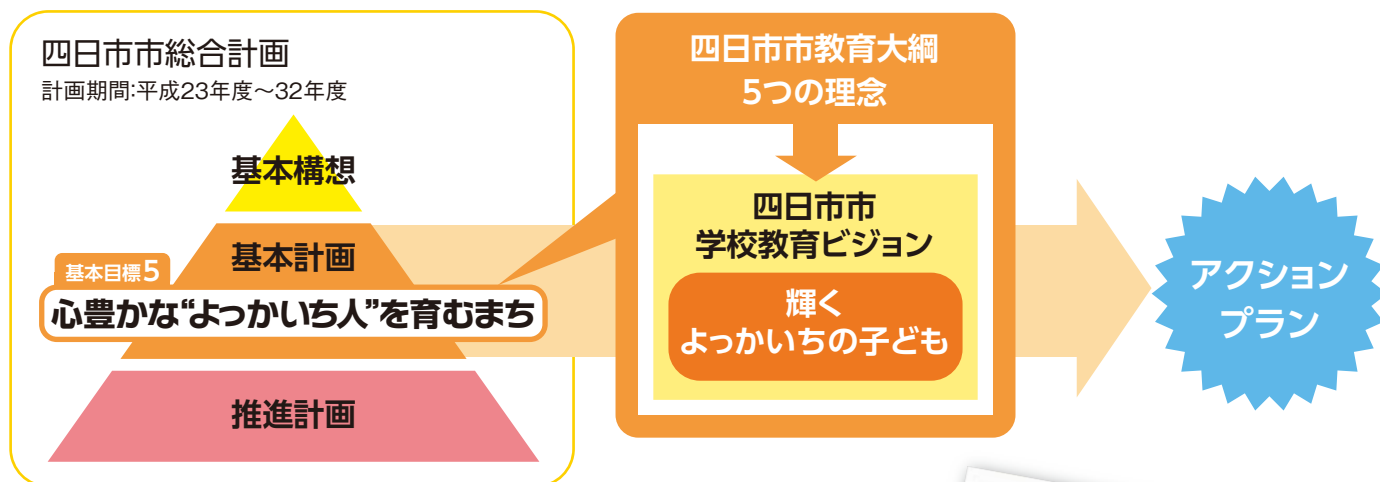
本市では、平成23年度に「四日市市総合計画」を策定し、基本目標5に、「心豊かな“よっかいち人”を育むまち」を掲げています。

また、平成27年度には、その基本目標に基づき、市長と教育委員で構成する総合教育会議の協議を経て、本市の教育の基本的な理念を示す四日市市「教育大綱」を策定しました。

さらに、この「教育大綱」の5つの理念を踏まえて、「**輝く よっかいちの子ども**」の育成を目指した「四日市市学校教育ビジョン」を策定しました。このうち、特に優先的に取り組むべき内容については、アクションプランによって具体的な取り組みを進めていきます。



平成28年度第1回総合教育会議



四日市市の教育を支える5つの理念

① 社会人になっても通用する 問題解決能力の養成

得た知識を活用して自ら考え、他者と議論し、解決方法を見つけていけるような力を身につけることで、社会における困難を克服していく力へとつなげます。

② 豊かな人間性と健やかな体の育成

自然体験や社会体験、スポーツ体験、文化体験など、さまざまな体験活動を通して、子どもたちの豊かな心とたくましい体を育てます。

③ 夢や志の実現に向け、 自ら学び続ける意欲・態度の涵養

主体的・協働的な学習意欲を持つことで、学校での学びを自分自身の人生の充実、幸せや将来の社会貢献につなげます。

④ 家庭や地域と学校・行政が 連携、協働した教育の実現

時代や社会の変化に対応するためには、家庭や地域と学校・行政の連携・協働が不可欠です。地域社会全体で取り組む教育の実現を目指します。

⑤ 都市の特徴を生かした 四日市ならではの教育の推進

本市のさまざまな魅力や地域資源を知ることを通して、産業と環境、文化が調和するまち四日市への愛着と誇りを感じる「心豊かな“よっかいち人”」の育成に努めます。



「心豊かな“よっかいち人”」の育成に向けて

子どもたちが自身の夢や志を実現するには、「学ぶこと」「学び続けること」が不可欠です。そのため、「何のために学ぶのか」という目的意識を持つことや、「学ぶこと」と社会とのつながりを意識しながら、主体的な学習意欲を持つことが必要となります。

主体的・協働的に学ぶ意欲や態度を身につけ、学校での学びを自分自身の人生の充実・幸せや将来の社会貢献につなげていくために本市が進める教育について、具体例を紹介します。

地域資源を生かした教育

現在も数多く継承されている文化財や伝統芸能、市の西部に広がる豊かな自然、臨海部や内陸部に立地する多様なものづくり産業や地域に根付いた地場産業、物流の拠点として発展する四日市港、公害対策のモデル都市としての歩みとそこで培われた環境技術などは、本市ならではの大きな地域資源です。

こうした地域資源を教育に生かすことによって、四日市に生まれ育ったことに愛着と誇りを持つ「心豊かな“よっかいち人”」の育成に努めます。

Pick up!!

そらんぽ 四日市 の見学

きれいな空気や青空を、
どうやって取り戻した
かが理解できた

公害のつらさとかが
よく分かった。ぼくたち
ぐらいの年齢で亡くなっ
た子もいたんやな…

市の歴史や文化・産業を学ぶ

市内の小・中学生は、授業で学んだことをより深めるために「そらんぽ四日市」を訪れて、体験学習の充実を図っています。四日市公害と環境未来館、博物館・プラネタリウムの常設展や学習支援展示などの見学を通して、本市独自の歴史や文化・産業などに対する理解を深めています。



四日市公害と環境未来館展示コーナーを見学
(常磐西小学校5年生)



公害に悩まされた当時の
学校の様子を伝える
元小学校の先生

語り部さんのお話を聞いた。
今の環境があるのは
いろんな人たちが
努力してきたから
なんやな

Pick up!!

四日市版 コミュニティ スクール

地域の皆さんがぼくらの先生になる

地域とともにある学校を目指し、企業や地域の人材をゲストティーチャーとしてお招きして授業を実施したり、放課後の学習を支援したりするなどしています。防災訓練での炊き出しや地元農家の指導による茶摘み、しめ縄作りなど、内容もさまざまです。



ゲストティーチャーによる授業



地区の防災訓練でのアルファ米の炊き出し



Pick up!!

自然体験 の充実

自然の中でのびのびと活動する

水沢町にある「四日市市少年自然の家」は、「挑戦する心」、「感動する心」、「発見する心」を育て、問題解決能力や豊かな人間性、たくましさを身につけた青少年を育成することを目的として設置された社会教育施設です。

現在、小学5年生と中学1年生が宿泊研修を行う場として親しまれており、自然と触れ合うとともに、集団生活の意義を学び、達成感を味わうことのできる自然教室プログラムを実施しています。



四日市市少年自然の家

うどんって自分で
作ると結構難しい・・・
職人さんって
すごいんやなあ



うどん作り体験(笹川中学校1年生 自然教室)



なかなかの
出来栄え
いただきまーす!

キ

キャリア教育

将来、子どもたちが社会的・職業的に自立することを目指して、発達段階に応じた学習活動や体験活動を展開します。これにより、子どもたちに望ましい勤労観・職業観を確立するとともに、一人ひとりが「生きる力」を身につけながら、将来直面する問題に柔軟かつたくましく対応する力を育てます。

この活動は、子ども自身が、これから身につけるべき力を考えるよい機会になっています。

憧れの仕事へ一歩近づく

子どもの職業観を広げるため、地域人材・資源を活用した体験的活動の充実を図り、企業や地域と連携した職場体験活動を実施しています。

Pick up!!

職場体験 活動

こうして一つひとつに
袋をかけて・・・
少しは上達してきたかな?
おいしい梨に
育ってほしいな



大池中学校2年生
(左)萩梨園 (右)三重加藤牧場)



力仕事が多くて大変。
牛と触れ合い、
命の大切さを感じました



塩浜中学校2年生
(コスモ電子株式会社)

外

国語活動・英語教育の充実

グローバル化する社会においては、自らの思いや考えなどを積極的に発信する異文化コミュニケーション力を高める必要があります。ネイティブ(ある言語を母国語として話す人)の英語指導員と接しながら、教室で英語を使うための環境をつくり、外国語活動と英語教育の充実を図ります。

Pick up!!

Y E F

知っていますか? YEF

YEF(Yokkaichi English Fellow/四日市イングリッシュフェロー)は、本市において語学指導および国際交流活動に従事する外国青年の英語指導員のことです。本市と姉妹都市提携を結んでいるロングビーチ市から招へいされた指導員と、国のJETプログラム(語学指導などを行う外国青年招致事業)で招へいされた指導員がおり、幼稚園では国際理解教育、市内全中学校では英語の指導を行っています。現在、11人のYEFが市内で活躍しています。

なお、小学校にはYEFではない外国人の先生が入っていて、「話す」や「聞く」といった英語に親しむことを中心にした活動を行っています。

本市と
ロングビーチ市は
姉妹都市提携を
結んでいます

Let's enjoy learning English!
楽しく英語を学びましょう!



YEFのエイミーさんが加わった英語の授業風景
(三重平中学校3年生)



授業の一場面「みんな、先生が言ったことカードに書けたかな?」



これからの英語教育

グローバル化する社会において求められる人材育成に対応するため、「学力としての英語」、「コミュニケーションツールとしての英語」という2つの面から英語の能力を強化します。

英語指導員の配置など、教室で英語を使いこなすための環境整備を進め、中学校卒業時に日常生活に必要な基本的な英会話能力を身につけることを目指します。



学習環境の整備は他にも...

ICT(情報通信技術)

子どもたちの学習成果を高めるため、電子黒板やデジタル教科書の導入など、ICT環境を充実させていきます。

※ICT機器(パソコン、プロジェクタ、実物投影機、電子黒板、タブレット端末など)

少人数教育

教育環境が大きく変化する小学1年生、中学1年生時において、子ども一人ひとりにきめ細かい指導を行うことを目的に、市が独自に教員を増員して30人以下学級を実施しています。



語能力の充実

論理的思考と、コミュニケーションの基盤である言語を使いこなす能力を高めるため、読書活動の充実を図ったり、1分間コメントやスピーチ大会などを実施したりしています。

Pick up!!

1分間 コメント

考えを整理し、人前で発表

読解力・思考力・要約力・表現力などを養うため、読書や新聞記事を活用して、自分の考えを整理し、発表する「1分間コメント」を実施しています。

1分間で話せる言葉は、およそ300字といわれています。300字にまとめるだけでなく、どうすれば人前で印象的に伝えられるのかも学んでいます。



Pick up!!

THE BENRON

表現力とコミュニケーション力を高める

表現力を磨く機会として、8月に「第1回 輝く中学生スピーチコンテスト」(THE BENRON)を開催します。市内の中学校の代表が、よりよい社会づくりにつながる内容をテーマに掲げ、弁論を繰り広げます。

このスピーチコンテストでは、事前に用意したスピーチだけでなく、スピーチ後の審査員からの質疑への応答も評価のポイントとなるため、コミュニケーション能力も求められます。

各校代表の個性豊かな話しぶりを、ぜひ会場でお聞きください。



日時 8月20日(土)
13:00~16:50(開場12:30)
場所 総合会館8階 視聴覚室
料金 無料

教育環境のさらなる 充実に向けて

本市ではこれからも、魅力ある教育のまちを目指して、特色ある教育施策を展開するとともに、エアコンの設置など、学習環境の充実や学校の施設整備にも取り組んでいきます。

編集後記

普段、子どもたちが学校でどのようなことを学んでいるのかをお伝えしようと取材をしていく中で、取材者自身が四日市の魅力を再発見することになりました。教育現場は日々変化しています。今後も本市ならではの教育を通じて、子どもたちが将来、「四日市で育って良かった」と言えるような魅力あるまちであってほしいと思います。(教育総務課 坂下、広報広聴課 服部)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は **教育総務課 ☎354-8236 FAX 354-8308**
広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3947